

NY マーケットレポート (2018年10月10日)

2018年10月10日 (水)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%	外国為替	終値	高値	安値
日経平均	23506.04	+36.65	3.26%	USD/JPY	112.34	113.28	112.33
ハンセン指数	26193.07	+20.16	-12.45%	EUR/JPY	129.45	130.50	129.41
上海総合	2725.84	+4.82	-17.58%	GBP/JPY	148.19	149.30	148.17
韓国総合	2228.61	-25.22	-9.68%	AUD/JPY	79.47	80.59	79.46
豪ASX200	6049.81	+8.74	-0.25%	NZD/JPY	72.53	73.47	72.53
インドSENSEX	34760.89	+461.42	2.07%	EUR/USD	1.1523	1.1545	1.1480

欧州主要株価	終値	前日比	年初来%	コモディティ	終値	前日比	年初来%
英FT100	7145.74	-91.85	-7.05%	NY GOLD	1193.40	+1.90	-8.3%
仏CAC40	5206.22	-112.33	-2.00%	NY 原油	73.17	-1.79	20.2%
独DAX	11712.50	-246.72	-9.33%	CBOTコーン	362.75	-1.75	3.4%
スペインIBX35	9162.90	-97.60	-8.77%	CRB指数	198.12	-2.256	2.2%
イタリアFTSE MIB	19719.04	-343.21	-9.77%	ドル指数先物	95.508	-0.160	3.7%
南ア全株指数	52813.37	-1374.45	-11.24%	VIX指数	22.96	+7.01	108.0%

米国主要株価	終値	前日比	年初来%	Crypto Currency	本日	前日
米ダウ平均	25598.74	-831.83	3.56%	CBOE Bitcoin(先物-期近)	6525	6580
S&P500	2785.68	-94.66	4.19%	CME Bitcoin(先物-期近)	6530	6570
NASDAQ	7422.05	-315.97	7.51%	Ripple (BSTP)	0.465	0.475
南北米主要株価	終値	前日比	年初来%	Ethereum (BSTP)	225.01	227.15
トロント総合	15517.40	-336.65	-4.27%	Bitcoin Cash	517.18	519.03
ボルサ指数	48136.18	-369.04	-2.47%			
ボベスパ指数	83679.11	-2408.44	9.52%			

*USD 6:00時点

*一部暫定値

10/11 経済指標スケジュール

08:01	【英国】9月RICS住宅価格
08:50	【日本】9月国内企業物価指数
09:00	【オーストラリア】10月消費者インフレ期待
15:45	【フランス】9月消費者物価指数
16:00	【トルコ】8月経常収支
16:30	【スウェーデン】9月消費者物価指数
20:00	【南アフリカ】8月製造業生産
20:30	【欧州】9月欧州中銀、議事要旨公表
21:30	【米国】9月消費者物価指数
21:30	【米国】9月実質平均週賃金
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数
21:30	【カナダ】8月新築住宅価格指数
23:30	【米国】EIA天然ガス貯蔵量
23:30	【米国】EIA原油在庫

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.115%	-0.113%
5年債	-0.062%	-0.058%
10年債	0.156%	0.161%
30年債	0.944%	0.950%
欧州国債利回り		
ドイツ10年債	0.552%	0.549%
英国10年債	1.525%	1.172%
フランス10年債	0.900%	0.890%
米国債利回り		
2年債	2.842%	2.885%
3年債	2.935%	2.979%
5年債	3.003%	3.056%
7年債	3.098%	3.148%
10年債	3.163%	3.206%
30年債	3.348%	3.369%

10/11 主要会議・講演・その他予定

- ・米30年債
- ・G20 財務相・中央銀行総裁会議

NY 市場レポート

◀ NY 市場概況 ▶

米主要株価が大幅下落となったことから、投資家のリスク回避の動きが強まり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。その後、米長期債利回りが急速に低下したことも影響してドル売り・円買いが加速し、ドル/円は9/20以来の安値を付けるなど、クロス円も軒並み大きく下落した。一方、米株式市場では、主要株価が軒並み大幅下落となり、特にダウ平均株価は831ドル安で終了し、1日の下げ幅としては2/8以来、約8ヵ月ぶりの大きさとなった。そして、ナスダックは4%以上、S&P500は3%以上の大幅下落となった。

主要な米経済指標結果

9月生産者物価指数(前月比) 0.2%(予想 0.2%・前回 -0.1%)

9月生産者物価指数[コア] 0.2%(予想 0.2%・前回 -0.1%)

9月生産者物価指数(前年比) 2.6%(予想 2.7%・前回 2.8%)

9月生産者物価指数[コア] 2.5%(予想 2.6%・前回 2.3%)

9月の米生産者物価指数は、モノとサービスを合わせた総合指数が前月比+0.2%となり、8月マイナスからプラスに転じた。前年比では+2.6%だった。品目別では、エネルギーが-0.8%、食品が-0.6%、輸送・倉庫は+1.8%となった。また、変動の激しい食品とエネルギーを除いたベースでは、前月比+0.2%、前年比では+2.5%となった。



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

8月卸売在庫（前月比） 1.0%（予想 0.8%・前回 0.8%）

8月卸売売上高（前月比） 0.8%（予想 0.5%・前回 0.0%）

8月の米卸売在庫は、前月比+1.0%の6427億600万ドルとなり、市場予想を上回った。前年比では+5.3%となった。耐久財は前月比+0.9%となり、木材が+0.5%、自動車が+3.5%、機械が+0.5%、電気製品は-0.4%となった。非耐久財は+1.2%となり、農産物が+4.9%、石油製品が+0.5%だった。8月の卸売売上高は、前月比+0.8%の5111億3800万ドル、前年比では+9.2%となった。耐久財は、前月比+1.3%、専門機器が+3.3%、電気製品が+2.4%、自動車が+0.2%となった。非耐久財は+0.5%となり、石油製品が+1.0%、医薬品が+0.2%、農産物は-1.7%だった。



出所：Bloomberg

要人発言

エバンス・シカゴ連銀総裁

- ・米労働市場は極めて活況で、インフレが目標値の 2%を多少上回る、あるいは下回ることがあっても金融当局は動揺すべきではない
- ・賃金は全米で上昇している。ただ、2000 年代半ばの好景気時のような強さではない
- ・米金融当局がインフレ率を目標の 2%に届かせることができるかどうか私は確信が持てなかったが、2%に到達できたという事実は、米経済と金融政策が順調に進んでいることを示す素晴らしいシグナルだ
- ・労働市場は非常に力強く、人々が仕事を変えたければ、より良いチャンスがあると思う

ボスティック・アトランタ連銀総裁

- ・ 3.7%の米失業率は極めて低い
- ・ 多くの指標に照らし、経済は望ましく推移
- ・ 力強い米経済を予想一年内について
- ・ 金融当局は現在の金利でブレーキをかけていない

トランプ米大統領

- ・ 連邦準備制度は常軌を逸したと思う
- ・ FRB が間違いを犯していると思う
- ・ FRB は引き締め過ぎ
- ・ FRB のしていることに強く反対
- ・ 長い間われわれが待っていた調整だ

サンダース大統領報道官

- ・ 米経済のファンダメンタルズは依然強い
- ・ 成長が続いているのはトランプ政権の政策が理由

米主要株価は軒並み大幅下落

米株式市場は、序盤に発表された米生産者価指数が上昇したことで、インフレ加速への警戒感から米長期金利が上昇となり、企業業績が圧迫されるとの懸念から主要株価は序盤から軟調な動きとなった。また、米中通商問題に対する懸念も材料視され、軒並み大幅下落となった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、831ドル安で終了し、1日の下げ幅としては2/8以来、約8カ月ぶりの大きさとなった。一方、ナスダックは4%以上の下げとなり、S&P500も3%以上の大幅下落となった。



出所：Bloomberg

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	テクノロジー	-4.27%	1	ナイキ	-6.81%
2	資本財	-4.17%	2	マイクロソフト	-5.43%
3	金融	-3.39%	3	ピザ	-4.77%
4	消費財	-1.33%	4	ボーイング	-4.66%
5	石油・ガス	-2.91%	5	アップル	-4.63%

出所：データを基に SBILM が作成

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。